

松本北海道地域防災マスターの  
**コラム 松本塾**



**第6回 十勝にも活断層今後30年の間に大地震の可能性**

「うちの街は」とか、「ここは昔から地盤がいいから」、「災害がないから防災なんか考えた事がないし、大丈夫」などと言う人がいます。

災害に対する防災意識は各市町村の住民に違いがあり、このことは十勝管内の防災研修等を通して感じました。

過去に大きな災害を経験した町の人達と、災害が少ない町の人達では意識に違いがあり、また、同じ町でも地域によって意識の違いがあるのは当然だと思います。

人は自分が生きて来た経験値で意外と判断する事が多く、異常な災害が発生した場合、「今までここに50年生きて来たけどこんな災害は初めてだ」、「80歳になるけどこんな災害は初めてだ」などと言います。

確かにそうです。特に地震の場合で考えてみると500年間隔地震や日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震。そして、内陸で起きる直下型の活断層地震は1000年間隔ですから、初めての経験となってしまうのです。

この十勝にも断層帯があります。それは「十勝平野断層帯」と言い、位置は足寄町から帯広市などを通り、幕別町忠類に至るのが十勝平野断層帯主部、そして大樹町から広尾町に至る光

地園断層。これらが連なって十勝平野を縦断しているものです。

この十勝平野断層帯については、私が北海道開発建設部主催のD I G (ディグ) ファシリテーター養成研修の講師の方から聞いた情報ですが、十勝平野断層帯主部においては、過去の具体的な活動については明らかにされておらず、また、将来の活動としても最新活動時期が特定されていないなど、断層活動の信頼度は低いとのことでした。しかしながら、十勝平野断層帯主部と光地園断層が一带として活動した場合、今後30年の間にマグニチュード7.2~8.0、震度7程度の地震が発生する可能性があると言われており、起きると、平成7年1月17日の阪神淡路大震災と同じクラスの地震となる推測であるとのことでした。

また、この十勝平野断層帯は、我が国の主な活断層の活動評価の中では、やや高いグループに属しているとされています。

これから起きると予想されている地震は十勝に住んでいる全ての人が初めて経験する事になりますので、地震発生の信頼度は低いが、いつ来てもいい心構えと準備が必要です。

(北海道地域防災マスター 松本英俊)

**『無防備な 心に火災が かくれんぼ』**

**12月15日から歳末火災予防運動**

年末の繁忙期を迎えると何かと気ぜわしく「つい、うっかり」といった火の始末に対する注意がおろそかになりがちです。浦幌消防署と消防団では、防火意識を高め、悲惨な焼死事故や貴重な財産の焼失を未然に防止するために歳末火災予防運動を実施します。

**運動期間** 12月15日(火)から12月30日(水)まで

**強調期間** 12月19日(土)から12月25日(金)まで

(期間中 20時に20秒間サイレンが吹鳴されます)

**統一標語** 『無防備な 心に火災が かくれんぼ』

☆住宅用火災警報器を設置、維持管理していますか？

住宅用火災警報器は火災予防条例で新築、既存住宅ともに設置が義務化されています。住宅用火災警報器が適切に機能するためには維持管理が重要です。「いざ」というときに住宅用火災警報器がきちんと働くよう、日頃から作動確認とお手入れをしておきましょう。

【詳しくは】浦幌消防署予防係まで、お問合せ下さい。  
 (Tel 576-2419)

**秋季消防演習のお礼**

過日実施いたしました第1分団の秋季消防演習に際しましては、公私とも御多忙中にもかかわらず御臨席を賜り、且つ、御祝儀並びに激励をいただき、関係者一同より厚くお礼申しあげます。

この演習を通じて、消防団員がさらに一致団結し、地域の予消防活動等により一層の努力をして参りますので、今後とも御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

時節柄、くれぐれもご自愛のほど御祈念申し上げ、お礼の御挨拶いたします。

浦幌消防団長 岡田 愛 啓  
 第1分団長 五十嵐 信 博